

平成30年度当初予算のポイント

川口市

平成30年度当初予算のポイント

歳入確保・健全財政と必要な事業量の確保の両立を目指した予算

☆事業が進捗した3大プロジェクトを除いたベースでは+54億円増の積極予算

一般会計	【H29当初予算】	【H30当初予算】
(総額)	1,916億円	1,892億円
<u>(3大プロジェクト外除く)</u>	<u>1,797億円</u>	<u>1,851億円</u> (+54億円)

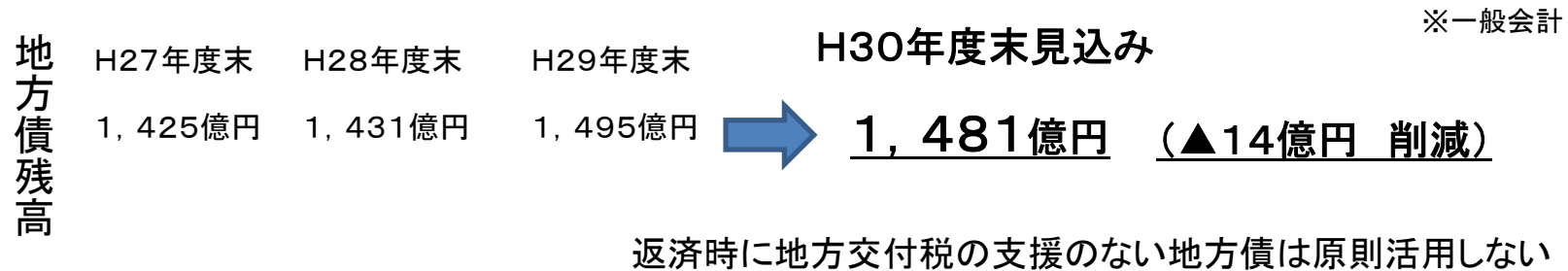
〔 <主な増要因> 保育所運営関連 +22億円 中核市移行関連 約20億円 〕

☆過去最高の市税収入を確保

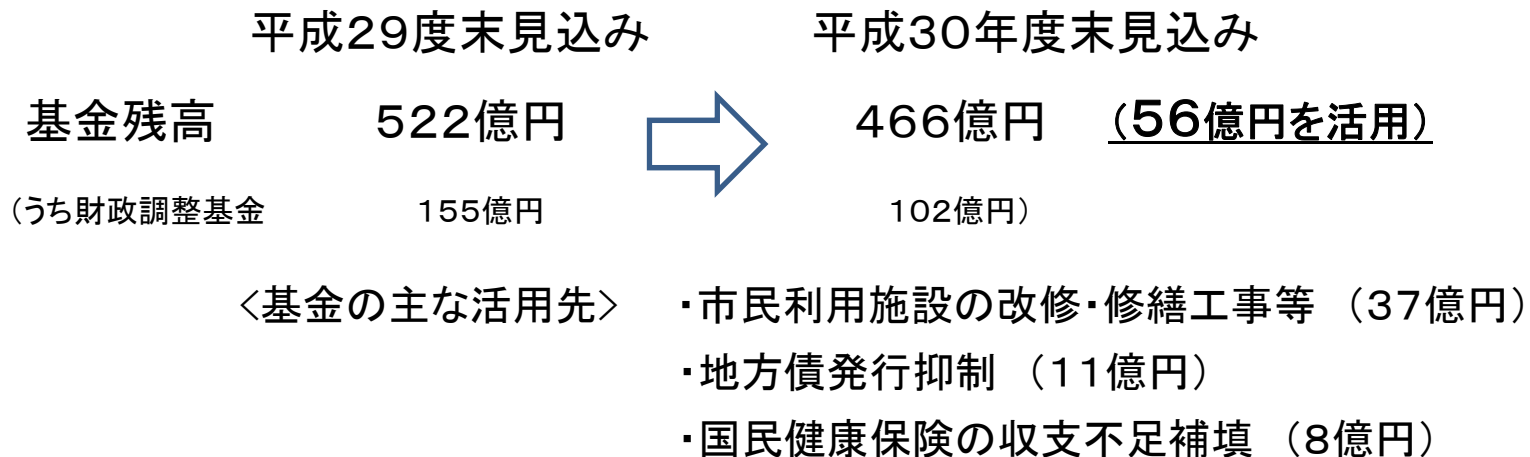
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	※当初予算ベース 平成30年度
879億円	903億円	914億円	917億円	943億円
(収納率) 89.4%	91.2%	92.3%	93.8%	95.3%

収納率は上昇傾向継続

☆ 新規地方債発行を抑え、地方債残高が3年ぶりに減少



☆ 基金を積極的に活用し、市民へ還元



主要事業の概要① 3大プロジェクト

3大プロジェクトH30年度予算額 40億8千万円 (H29 119億円)

1 新庁舎建設事業 H30予算額 19億6千万円

・新庁舎1期棟建設工事の2カ年目

新庁舎1期棟 工事期間 H30年1月～H32年3月(予定)

2 新市立高等学校建設事業 H30予算額 12億5千万円

・平成30年4月開校に続き、アリーナ棟の建設に着手

アリーナ棟 工事期間 H31年1月～H32年12月(予定)

・学力向上支援事業(資料1)

3 赤山歴史自然公園整備事業 H30予算額 8億7千万円

・平成30年4月一部供用開始に引き続き公園整備を実施

※ ハイウェイオアシス整備に係る負担金を含む(4億2千万円)

※新市立高等学校 校舎棟、めぐりの森 整備完了により減、新庁舎、高等学校(アリーナ棟)31年度以降増額予定

主要事業の概要② 「選ばれるまち」の実現

1 中核市移行関連事業

総額 約22億4千万円

※今後経常的に必要となる財政影響額を推計(平年度ベース)

2, 209の事務事業が埼玉県から移譲

(福祉部・子ども部

①県からの移譲事務 約11億8千万円

- ・小児慢性特定疾病対策事業
- ・特定不妊治療費助成事業
- ・特別養護老人ホーム等整備事業
- ・産業廃棄物対策事業 等
- ・障害者福祉施設整備事業 等

・保健部(健康増進部)・環境部 他)

②中核市移行に伴う新たな施策 1億円

- ・中核市移行を契機として、本市独自の施策を実施

③その他の経費 約9億6千万円

- ・保健所等職員人件費
- ・包括外部監査事業 等

①のうち市の判断で拡充した事業及び②の事業の詳細は(資料2)

2 救急隊の増設(拡充)

H30予算額 消防費 59億円の内数

- ・平成30年4月から芝園分署に救急隊を配置、救急車到着時間の短縮を図る

市内 12隊(96名) → 13隊(104名) 体制へ

(救急課)

主要事業の概要② 「選ばれるまち」の実現

3 保育士給与支援事業(新規) (資料3) H30予算額 2億7千万円

・民間事業者と協力し保育士確保のための処遇改善策を実施 (保育入所課)

一人あたり上限を2.1万円とする補助金を支給 (市は事業者拠出額の最大3倍を補助)

対象人数 1,300人 (認可保育所、小規模及び家庭保育室の常勤保育士)

例 事業者:7,000円【1/4】 + 市:21,000円【3/4】 = 合計 28,000円

※事業者負担額は事業者の500円以上・500円単位で任意

最大で保育士一人当たり月額 2.8万円の処遇改善が可能

4 認可外保育施設利用料補助金(新規) (資料4) H30予算額 2千3百万円

・認可保育所を希望していたものの利用保留となり、認可外保育施設を利用することとなった保護者に対し、認可外と認可の平均保育料差額の一部を補助(月額1万円) (保育入所課)

5 乳児用呼吸モニター購入補助・保育支援員配置事業(継続) (保育入所課)

H30予算額 1千3百万円

・呼吸モニター購入補助、認可外保育所の保育支援員配置の補助を引き続き実施

※平成29年度9月補正から実施

主要事業の概要② 「選ばれるまち」の実現

6 保育所の運営・幼稚園長時間預かり保育(拡充) H30予算額 122億8千万円

- ・公立、指定管理、民間保育所に加え、長時間預かり保育を実施する私立幼稚園により、待機児童対策を推進 (子ども総務課
・保育運営課・保育入所課)

【保育所＋幼稚園長時間預かりの定数】

	平成29年度		平成30年度	
	151箇所	9,210人	173箇所	10,102人(892人増)
うち保育所	147箇所	9,095人	164箇所	9,872人
うち幼稚園 長時間預かり	4箇所	115人	9箇所	230人

7 赤ちゃんにっこり応援金(拡充) (子ども育成課) H30予算額 2千百万円

- ・育児用品のレンタル・購入、母乳育児支援の費用に対し助成(所得制限あり)

0歳児1人につき、1万円を補助 ※ 1歳未満の乳児 第3子以降については、1万円 → 2万円(新規)

所得制限基準額の緩和

市民税両親合算 168,000円(年間給与収入600万円程度) → 174,000円(同670万円程度)

主要事業の概要③ 地域経済の強化・好循環の創出

1 市産品フェア事業(継続) (産業振興課) H30予算額 7千万円

- ・製造業、緑化産業を中心とした市内製品や市内で営業するあらゆる業種のサービスなどを市内外の企業や市民等に広く周知し、地域経済の活性化を推進。

(1)開催日・・・平成30年10月(予定) (2)会場・・・SKIPシティ(予定)

2 地域経済応援ポイント事業(新規) (産業振興課) H30予算額 1千2百万円

- ・マイナンバーカードを活用し、カード会社等のポイント、マイレージを川口市内店舗のみで利用できるポイント券と交換し利用することでマイナンバーカードの普及及び市内の消費拡大を図る。

3 大規模イベントへの支援 (継続・拡充) H30予算額 1億7千万円

- ・たたら祭り実行委員会交付金 3千万円 ※第40回記念 (自治振興課)

- ・映画祭関連事業 6千万円 (産業労働政策課)

※中核市移行を記念し、本市を舞台とした映画を制作

- ・川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり実行委員会補助金 8千万円 (産業振興課)

※第3回。今回は4年に一度開催する方式に変更後、初めての開催。

主要事業の概要③ 地域経済の強化・好循環の創出

4 中小企業都市サミット開催

H30予算額 1千5百万円

・中小企業が集積する 7都市の自治体と商工会議所が連携 (産業労働政策課)

平成30年10月 中小企業都市サミットを“本市”にて開催

本市以外の構成市 墨田区、大田区、岡谷市、東大阪市、尼崎市、加賀市

<中小企業都市サミットの概要>

7都市の首脳が一堂に会し、ものづくり中小企業を支援するための取り組みについて議論し、宣言文と国への提言をとりまとめるため開催。(今回で11回目)

5 市街地再開発事業等への支援(継続)

H30予算額 22億4千万円

魅力ある市街地の形成を図り、防災性の向上を促進 (都市整備管理課)

<事業完了予定>

- | | |
|--------------------------------|------|
| ①川口栄町3丁目銀座地区第一種市街地再開発事業 (21億円) | H35年 |
| ②川口飯塚1丁目3番地区優良建築物整備事業 (8千7百万円) | H32年 |
| ③川口本町4丁目8番地区優良建築物整備事業 (4千8百万円) | H32年 |

主要事業の概要④ 社会資本・公共施設の整備

1 新規着手・完了予定(主なもの)の建設事業

H30年度 新規着手	領家保育所、領家公民館(工事)
	中学校夜間学級校舎(設計)
	川口市立高等学校 アリーナ棟
	江川第3調節池整備事業(基本設計)
H30年度 完成予定	仲町たたら荘、仮称仲町東保育所
	新郷南公民館耐震改修、新郷スポーツセンター耐震改修
	仮称産業労働会館、仮称婦人青少年会館
	埼玉高速鉄道線新井宿駅交通広場整備
	青木町公園外柵全面更新、川口西公園芝生広場改修

主要事業の概要④ 社会資本・公共施設の整備

2 市民利用施設の大規模修繕・改修事業(主なもの)

- ・ 総合文化センター(リリア)改修工事 1.4億円
(電源設備、エレベーター、監視カメラ等の改修)
- ・ 市民ホール改修工事 1.7億円 (外壁、エレベーター等の改修)
- ・ 老人福祉施設(サンテピア等)改修工事 1.1億円 (電源設備、空調等の改修)
- ・ 公民館改修工事 3.2億円 (外壁、空調、電源設備、エレベーター等の改修)
- ・ 小中学校施設改修工事 9.8億円
(外壁、浄化槽、プール浄水装置、消防設備、空調等の改修、砂塵対策、防水対策)
- ・ スポーツセンター改修工事 1.0億円 (プール浄水装置改修、漏水対策等)

主要事業の概要④ 社会資本・公共施設の整備

3 鉄道駅ホームドア整備に対する補助(継続) H30予算額 1億8千7百万円

・JRが実施する川口駅、西川口駅のホームドア整備に要する費用の一部を補助

※平成29年度～平成31年度までの3カ年事業の2カ年目 (都市交通対策室)

4 区画整理事業の促進(新規・継続) (資料5)

H30予算額 土地区画整理事業(一般・特別会計) 総額 78億5千万円の内数

・既存の計画にとらわれない新たな手法による市街地整備を実施

(1) 芝中央沿道第1土地区画整理事業(新規)

(2) 芝中央沿道土地区画整理事業(新規) (市街地整備室)

5 新たな下水道接続支援制度の創設(新規) H30予算額 2千3百万円

・下水道へ接続する市民に工事費の一部を補助 (下水道維持課)

市内業者へ依頼した場合: 上限 3万円 (市外業者の場合は 2万円) (資料6)

主要事業の概要⑤ その他の主要な施策

1 空家等対策事業(新規)

H30予算額 2千3百万円

・空家の除却を促進するため、「空家除却補助金」を新たに計上 (住宅政策課)

(補助対象)老朽化が著しい空家の除却工事費用 ※再建築不可のもの等の条件あり

(補助額) 対象費用の4/5を補助 ※上限100万円 ※国費1/2 市費1/2

2 中学校夜間学級関連事業(新規・継続)

H30予算額 6千5百万円

・中学校夜間学級開設に向けての準備経費を計上

(学務課・教育総務課)

①開設に向けての先行事例研究等の準備作業

②暫定的に利用する旧県陽高校校舎の改修工事

③新たに建設する校舎(旧芝園小学校敷地内)の実施設計

平成30年度
準備期間 (設計等)

平成31年4月
開校(旧県陽高校)

平成31~32年度
校舎建設(旧芝園小学校)

平成33年度
新校舎にて授業開始



3 窓口における外国人対応の強化（情報政策課） H30予算額 30万円

- ・タブレット端末にて翻訳アプリを使用し、窓口での外国籍市民との意思疎通の改善を図る
- ・本件に併せ、国の情報通信研究機構等の自治体向け音声翻訳システム開発の実証実験に参加予定。

※市民課、行政センター、戸塚支所、国民健康保険課、市民税課、税証明窓口
本庁舎受付(管財課)、芝園保育所、南消防署にて設置活用を予定

4 庁内の働き方改革(事務作業のシステム化による作業効率化・市民対応充実)

H30予算額 2千5百万円

家庭児童相談システム ……相談内容を登録し、データ化、各種資料等をシステムにより作成し、
作業時間の短縮が可能

開発許可システム……過去の開発許可に関する資料をデータ化し、検索時間の大幅短縮が可能
過去の許可に関わる資料(紙ベース)電子化による効率化

生産緑地管理システム……指定済みの生産緑地の資料をデータ化し、電子地図と連動することで、
照会時間等の短縮が可能

事務作業労働時間削減目標(年間) 合計 2,100時間